

## 地唄舞とは

日本の古典舞踊には「舞」と「踊り」の二種類があります。三味線音楽である地唄に合わせて舞うものを「地唄舞」といいます。

舞の特徴は、少ない動きと抑制した間でその歌詞にこめられた「こころ」を表現するところにあります。

## 渡辺 保

『女形の運命』で芸術選奨文部大臣新人賞、『忠臣蔵』で平林たい子文学賞と河竹賞、『娘道成寺』で読売文学賞、『昭和の名人豊竹山城少掾』で吉田秀和賞、『四代目市川団十郎』で芸術選奨文部大臣賞、『黙阿弥の明治維新』で読売文学賞を受賞。近著『九代目団十郎』演劇出版社ほか著書多数。日本芸術院会員。

## 神崎えん

地唄舞神崎流四世家元。父三世宗家秀珠の膝下にて二世宗家神崎ひでにも薫陶を受け、一九八一年より毎年「霧の会」の公演を主催する。一九八三年より武原はん師にも指導を受ける等、地唄舞一筋に打ち込み、一九九九年舞踊批評家協会賞新人賞受賞、同年、四世家元を襲名。同時に「神崎流地唄舞研究会」を第五十回より引き継ぐ。二〇一一年パリ日本文化会館公演。紀尾井ホール主催公演、国立劇場主催「舞の会」等各種公演に出演。二〇一四年より「地唄舞研究会」を渡辺保氏協力のもと開催するなど東京の地唄舞の啓蒙普及に努める。

## 今後の予定

地唄舞研究会別会ワークショップ

九月二十二日(土) 午後二時開始 於・柿傳古今サロン

第三十八回「霧の会」

十月二十三日(火) 午後七時開演 於・国立小劇場 入場料 八千円

第十八回地唄舞研究会

来年二月六日(水) 午後二時開始 於・鹿島KIビル地下一階 大会議室

協力

鹿島建設株式会社

会場

港区赤坂6-5-30

鹿島KIビル 地下1階 大会議室

東京メトロ千代田線赤坂駅5b出口より徒歩2分



## FAX 申込用紙

FAX宛先 03-3405-7190 (9時~18時)

本用紙でお申し込みのお客様は、当日会場に本紙をご持参ください。満席になりました場合は、ご連絡申し上げます。

お名前(フリガナ)

日中ご連絡のつくお電話番号とメールアドレス